

ステークホルダーエンゲージメント

ウッドワンは持続可能な社会を目指した事業活動において、お客様、従業員、株主・投資家、取引先、行政、地域社会の皆様との日々のコミュニケーションを大切に、ステークホルダーの皆様よりいただいたご意見やご要望を真摯に受け止め、商品・サービスの改善、満足度向上につなげていきます。

ステークホルダーエンゲージメントの向上

当社はお客様商品相談窓口や各種アンケート、日々の営業活動などでいただいたご意見を参考に、ステークホルダーエンゲージメントの向上に取り組んでいます。ステークホルダーの皆様からいただいたお声は、定期的を実施している各部署の幹部をメンバーとする経営統括会

議やマネジメントレビュー等の会議で取り上げ、ステークホルダーのニーズ及び期待を分析・評価し業務の見直しをしています。

ステークホルダーのニーズの把握について

ステークホルダー	ステークホルダーのニーズ及び期待		主なコミュニケーション方法
お客様	・品質の安定性 ・環境配慮特性 ・納期 ・クレーム削減	・安全性 ・施工性 ・価格 ・クレーム対応	・お客様商品相談窓口 ・各種展示会／セミナー ・アフターサービス ・販売サイト ・コーポレートサイト ・ウッドワン空間デザインアワード
株主・投資家	・事業継続 ・企業価値 ・利益確保	・配当 ・CSR	・株主総会 ・IRミーティング ・アンケート ・決算説明会
取引先	・コスト ・保証内容 ・購買情報の精度アップ	・リードタイム ・要求性能レベル	・購買・調達活動 ・新年互礼会 ・各種セミナー ・品質管理体制アンケート
行政	・法令遵守 ・指導事項の遵守	・社員への法令教育	・各種法令の遵守及び報告・届出
地域社会	・地域貢献 ・地域協定 ・近隣苦情	・従業員のモラル ・地域活動への参加 ・法令遵守	・文化・芸術活動の支援 ・従業員による各種ボランティア ・社会科学習支援(職業体験など)
従業員	・報酬 ・福利厚生 ・衛生管理 ・内部コミュニケーションの充実	・業務負担 ・自己実現／満足度 ・安全／環境整備	・個人面談 ・各種研修 ・イントラネット／社内報 ・労働組合との情報交換など

人権

ウッドワンは、性別、人種、国籍、宗教、思想、身体上のハンディ、その他個人的な特性に基づいた差別を一切行わない旨を「コンプライアンス・マニュアル」に定めて行動規範としています。また、国際労働機関（ILO）「中核的労働要求事項」に定められた事項を尊重しており、児童労働、強制労働についても一切容認していません。

合法木材の調達について

当社は適正な林業、適正な森林経営をすることで森林資源を保全しながら、森林面積を減らすことなく、一定の周期で毎年一定量の木材を永続的に収穫できる状態に保つとする理念のもと、常に正しい林業のあり方を実践してきました。

当社のニュージーランド現地法人ジューケン・ニュージーランド・リミテッドでは、経営する全ての森林で、FSC® (Forest Stewardship Council®：森林管理協議会)のFM認証(森林管理認証)を取得し、併せて国内外の木質建材関連工場でCoC認証(加工・流通過程の管理認証)も取得しています。

当社は「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律(通称「クリーンウッド法」)」が定める「登録木材関連事業者」に登録するなど、調達における合法性の確保に積極的に取り組んでいます。引き続き、人権と法令を尊重した公正で責任のある調達活動に努めていきます。

社会貢献活動

人の営みから生まれる文化は、人の心を豊かにしてくれます。ウッドワンはそれを、森や木との対話の中から学びました。自然を愛し、自然とともに生きることまた文化だからです。同じ時代を生きる人々と文化という素晴らしい言葉で語り合いたい。そうした想いが、当社の文化活動や社会貢献活動を支えています。

■ ウッドワン美術館による展示

当社が所有する美術品約800点を展示・公開する美術館として1996年、本社のある広島県廿日市市に開館しました。ゴッホや岸田劉生はじめ素晴らしい美術品を所蔵し、ウッドワンの文化発信基地として地域貢献に努めています。



岸田劉生
「毛糸肩掛せる
麗子肖像」

■ けん玉ワールドカップへの協賛

けん玉は日本の伝統的な玩具であり、世界的にも人気が高まっています。当社では、けん玉発祥の広島県廿日市市で毎年開催される「けん玉ワールドカップ」に冠スポンサーとして協賛し、継続的に応援しています。



労働安全衛生

ウッドワンは従業員の災害及び疾病を防止し、安全で衛生的な労働環境を作ることにより、従業員の安全を守り、身体及び心の健康の維持・増進を図ることを目的として「安全衛生規程」を定めています。この規程の中で、安全衛生管理体制を定めるとともに、労働災害を防止するために必要な対策を実施しています。

安全衛生基本方針

— 基本理念 —

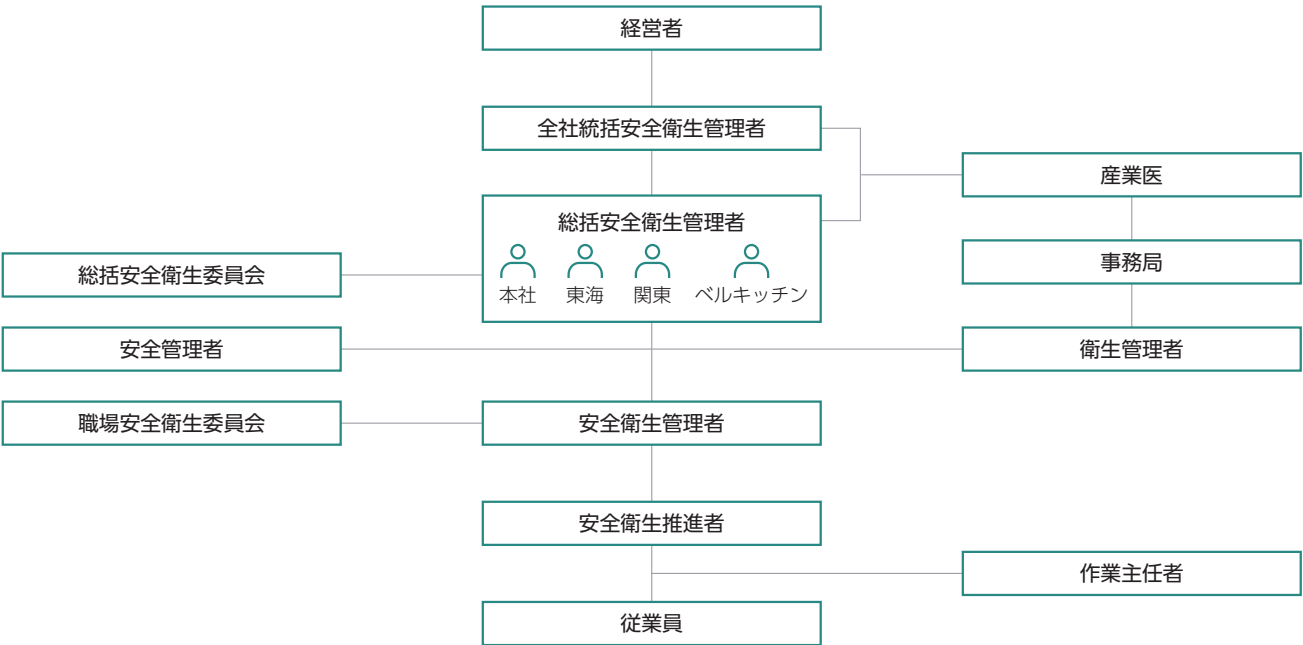
人間尊重を基本として、
安全で衛生的な作業及び環境の向上と、一人ひとりが健康で
働き甲斐のある職場を目指して私たちは活動します！

労働安全衛生マネジメントシステム

- 安全衛生管理組織

当社は労働災害をはじめとする危険または健康障害を防止するため、安全衛生管理組織を設置し、統括安全衛生管理者、安全衛生責任者などを配置したマネジメント体制を整備しています。
- 当社における安全衛生に関する事項は総務人事部が管理しており、全社統括安全衛生管理者は総務担当取締役がこれにあたり、総務人事部が事務局となって労働安全衛生に関する事務処理全般、指導を行い安全衛生管理体制の確立を図っています。

安全衛生管理組織図



労働災害に関する目標と実績

- 目標と実績

当社は従業員の労働災害の防止、健康の保持増進を図るため、毎年安全衛生基本方針及び目標を策定しています。2021年度の度数率は7.2、休業災害件数は3件と

全社安全目標

	2021年度目標	2021年度実績
度数率 ^{※1}	3.6以下	7.2
休業災害件数 ^{※2}	休業災害ゼロ	3件

※1 度数率＝労働災害による死傷者数÷延実労働時間数×1,000,000
※2 工場・物流部門が対象

労働災害防止の取り組み

- 安全パトロールの実施

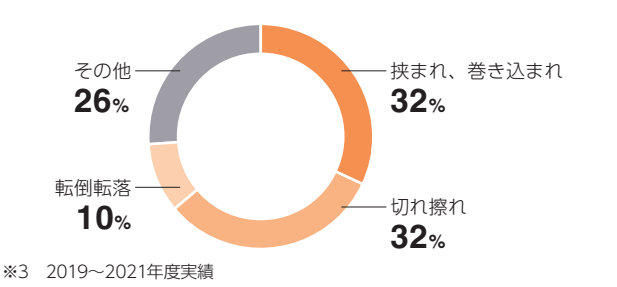
1) 毎月安全衛生委員会が対象工場のパトロールを実施
2) 安全衛生委員会が対策を検討・実施
〈2021年度の重点ポイント〉
・刃物の惰性回転防止対策
→ブレーキを付けて回転が止まるように対策
困難な場合はパトライト及び警告音で惰性回転を知らせる
・挟まれ・巻き込まれ対策
→安全柵・安全カバーの設置

■ 安全道場の活用

当社は模擬体験機を利用して、危険(惰性回転・挟まれ・巻き込まれ)を体感し、安全意識を高める安全道場を本社地区、東海地区、関東事業所、ベルキッチンに設置しています。
工場・物流の全従業員を対象に年1回以上の体験を義務付けており、安全教育強化に取り組んでいます。

全目標未達となりました。この結果を踏まえ、リスクアセスメントの実施、安全パトロールのさらなる強化を実施し、労働災害撲滅に取り組んでいきます。

事故の型別比率^{※3}



※3 2019～2021年度実績

■ リスクアセスメントの実施

安全パトロール等の各工場で抽出されたリスクは、リスクアセスメントの対象とし、毎月1回安全衛生委員会に結果報告しています。報告内容は安全対策に活用され、他部署への水平展開や根本的な安全対策の実施、事故発生の防止に役立てられています。

